

ふるさとひょうご創生塾第22期生（2年次）カリキュラム 《平成30年度》

	月 日	学習テーマ	学習区分	学習の内容
実践講座Ⅱ	1	4月21日（土）	企画の中間発表会	・グループによる企画の中間発表（企画概要まで） ・企画概要を発表し、企画運営委員等からアドバイス等を受けることにより、その内容・精度・実効性を高める
	2	4月28日（土）	企画の練直し	・グループによる練直し ・アドバイス・コメント等を踏まえ、グループで議論しながら企画書の最終・確定版を作成する
			・1年次講座の再確認 ※塾生自主講座Ⅰ	・1年次におけるグループ運営・コミュニケーション・会議運営・会議・問題解決のテーマについてグループ内での反省・課題等をグループ毎に具体例を出して発表し、今後の活動に活かす
	5月～7月	≪実践活動の準備≫ 企画書の最終版により、実践活動に向けて準備する 企画内容実施のための調査・組織・団体等との協力関係づくり・活動場所の選定・広報の方法の検討・活動に要する物品の準備検討・助成制度の検討 ※グループ単位で調整日の日程調整を自主的に設定・打合せを実施		
基礎講座	3	5月12日（土）	情報収集・発信	・情報の収集と発信手法 ・地域活動に不可欠な情報の収集・発信の具体例を学びその方法を考える
		IT活用策	・ITの活用についての留意点 ・MAIL/SNS等の適切な使い方、人間関係・コミュニケーションに与える影響を学び、活動に活かす	
実践活動	4	6月23日（土）	NPの立上げ	・PO立上げのポイント ・NPO立上げに係るノウハウの習得・立上げのポイントを学び、卒塾後に活かす
		ボランティア活動のポイント	・災害ボランティアを考える ・1年次に学んだボランティアの意義を踏まえ、災害ボランティアにみる活動のポイントを学ぶ	
実践活動	5	7月21日（土）	企画報告会	・グループによる実践活動企画の最終発表 ・グループによる活動企画の最終報告（完成した企画の発表）と企画運営委員等からの活動に向けてのアドバイス・コメント等を受ける
		1・2年次合同	≪実践活動≫ 企画した実践活動をグループ毎に実施（他のグループの活動にも出来るだけ参加） 原則としてこの期間内最低1回、継続タイプであれば3回程度 ※活動状況の写真・参加者へのアンケート内容検討実施・集約	
基礎講座	6	8月25日（土）	参画と協働の県政	・参画と協働の県制度の紹介 ・参画と協働の県政の目的と、パブリックコメント・県政モニター・審議会等への参画制度を学び、卒塾後の活動分野を拡げる
		卒塾生に聴く	・卒塾後の活動実例を学ぶ ・事例を学び意見交換し、卒塾後の活動意欲を高める	
基礎講座	7	9月22日（土）	ネットワーク論	・組織（活動団体）間のネットワークの留意 ・活動の拡充は他の組織（他団体）等とのネットワークが不可欠であり、具体事例を学び、活動に活かす
		NPO運営	・NPO継承と継続について ・NPOの継続性を担保するポイントを具体例から学ぶ（地域活動の継続・継承の参考）	
実践講座Ⅱ	8	11月24日（土）	塾として卒塾後期待すること	・各グループから2カ年の学び、活動で得た課題・反省、地域活動にとって必要なこと等について発表・塾生間で意見交換し共有 ※活動報告に記載
		特別講義	・兵庫県150年の歩み ・県政150周年を踏まえ県の歩みを再確認し、ふるさと意識の醸成と地域活動の充実をめざす。	
実践講座Ⅱ	9 10	9月～11月	≪卒塾旅行≫ 22期生として今後への活動のための塾生間の交流による、相互理解・信頼関係の深化と卒塾生の活動を現地で聴く また、県・市町の先進施設を視察し、兵庫県の姿を再認識する ※塾生による自主企画・実践（基本1泊2日）	
		12月1日（土）	実践活動中間報告会	・各グループから「企画書」「写真映写」「活動報告」「具体的な反省・今後への課題」の4部構成により発表特に課題・反省が重要（今後の活動に活かす観点）
実践講座Ⅱ	11	12月～1月	≪実践活動報告書のまとめと作成≫ 卒塾式において報告するもの 各グループで記述の責任分野の確認と作業・集約・内容の共有 ※各グループで自主的に打合わせ・共有の場野設定	
		12月26日（土）	2年間の学びの振り返りと卒塾後への想いの共有	・学びの振り返り、卒塾式報告に向けての効果的なプレゼンテーション ・学びを振り返り、今後の活動のポイントの共有、卒塾式での活動報告のポイントを学ぶ
実践講座Ⅱ	12	2月16日（土）	卒塾式での活動報告のリハーサル	・卒塾式での実践活動のリハーサル（効果的・ポイント） 反省・今後への課題を重点に ※発表・発表時間・・・事前確認
		14	3月16日（土）	卒塾式 旅立ちを祝う会